

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ファンケル
 コード番号 4921
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員CEO
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経営企画本部長
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日
 配当支払開始予定日 2022年12月 5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

URL <https://www.fancl.jp/>
 (氏名)島田 和幸
 (氏名)小峰 雄平 (TEL)045-226-1200

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	50,639	1.5	3,350	△35.2	4,176	△24.9	2,654	△34.8
2022年3月期第2四半期	49,876	△8.1	5,171	6.0	5,558	11.5	4,070	13.9

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,850百万円 (△31.9%) 2022年3月期第2四半期 4,185百万円 (17.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	21.96	21.87
2022年3月期第2四半期	33.73	33.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	101,876	75,547	73.5
2022年3月期	100,121	74,073	73.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 74,914百万円 2022年3月期 73,432百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
2023年3月期	—	17.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,500	3.4	9,800	0.3	10,680	2.7	6,950	△6.4	57.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	130,353,200株	2022年3月期	130,353,200株
2023年3月期2Q	9,431,351株	2022年3月期	9,677,463株
2023年3月期2Q	120,886,118株	2022年3月期2Q	120,670,627株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式(2023年3月期2Q 211,013株、2022年3月期 211,500株)が含まれております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高は、戦略的な広告投資により、主力の化粧品関連事業、栄養補助食品関連事業が増収となり、全体では50,639百万円(前年同期比1.5%増)となりました。営業利益は、売上増により売上総利益が増加したものの、お客様基盤拡大のために広告宣伝費を積極的に使用したことなどにより、3,350百万円(前年同期35.2%減)となりました。経常利益は4,176百万円(前年同期比24.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,654百万円(前年同期比34.8%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①化粧品関連事業

売上高

化粧品関連事業の売上高は、28,694百万円(前年同期比1.6%増)となりました。

	2022年3月期 前第2四半期連結累計期間		2023年3月期 当第2四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンケル化粧品	20,271	71.8	20,905	72.9	3.1
アテニア化粧品	7,004	24.8	6,744	23.5	△3.7
boscia(ボウシャ)	529	1.9	398	1.4	△24.6
その他	439	1.5	645	2.2	46.9
合計	28,244	100.0	28,694	100.0	1.6

	2022年3月期 前第2四半期連結累計期間		2023年3月期 当第2四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	14,588	51.6	15,269	53.2	4.7
店舗販売	6,109	21.6	5,762	20.1	△5.7
卸販売他	3,998	14.2	4,980	17.4	24.6
海外	3,547	12.6	2,682	9.3	△24.4
合計	28,244	100.0	28,694	100.0	1.6

ファンケル化粧品は、広告宣伝を強化した「エンリッチプラス」「マイルドクレンジング オイル」などが堅調に推移したことに加え、新発売した「泥ジェル洗顔」の寄与により、20,905百万円(前年同期比3.1%増)となりました。

アテニア化粧品は、国内は「スキんクリア クレンジング オイル」や、スペシャルケア製品が好調だったものの、海外が中国ロックダウンの影響で減収だったことなどにより、全体では6,744百万円(前年同期比3.7%減)となりました。

boscia(ボウシャ)は、リアル店舗向けの卸販売が振るわず、398百万円(前年同期比24.6%減)となりました。

販売チャネル別では、通信販売は15,269百万円(前年同期比4.7%増)、店舗販売は5,762百万円(前年同期比5.7%減)、卸販売他は4,980百万円(前年同期比24.6%増)、海外は2,682百万円(前年同期比24.4%減)となりました。

営業損益

損益面では、売上増により売上総利益が増加したものの、広告宣伝費を積極的に使用したことなどにより、営業利益は2,722百万円(前年同期比22.5%減)となりました。

②栄養補助食品関連事業

売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は、18,866百万円(前年同期比2.2%増)となりました。

	2022年3月期 前第2四半期連結累計期間		2023年3月期 当第2四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	8,376	45.4	8,794	46.6	5.0
店舗販売	3,264	17.7	2,751	14.6	△15.7
卸販売他	4,677	25.3	5,581	29.6	19.3
海外	2,141	11.6	1,738	9.2	△18.8
合計	18,460	100.0	18,866	100.0	2.2

製品面では、広告宣伝を強化した「内脂サポート」が好調に推移したことに加え、前期下期に発売した「睡眠&疲労感ケア」の寄与などにより、増収となりました。

販売チャネル別では、通信販売は8,794百万円(前年同期比5.0%増)、店舗販売は2,751百万円(前年同期比15.7%減)、卸販売他は5,581百万円(前年同期比19.3%増)、海外は1,738百万円(前年同期比18.8%減)となりました。

営業損益

損益面では、相対的に原価率の高い卸販売他の売上構成比が高まったことによる売上総利益率の悪化に加え、広告宣伝費を積極的に使用したことなどにより、営業利益は1,404百万円(前年同期比44.4%減)となりました。

③その他関連事業

売上高

その他関連事業の売上高は、3,078百万円(前年同期比2.9%減)となりました。

	2022年3月期 前第2四半期連結累計期間	2023年3月期 当第2四半期連結累計期間	伸び率 (%)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	
発芽米	1,010	996	△1.4
青汁	980	964	△1.7
その他	1,180	1,118	△5.3
合計	3,171	3,078	△2.9

営業損益

損益面では、減収となったものの、発芽米の売上総利益率の改善などにより売上総利益が増加し、営業利益は65百万円(前年同期は21百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産は、前連結会計年度末に比べて1,755百万円増加し、101,876百万円となりました。この要因は、流動資産の増加2,464百万円および固定資産の減少708百万円であります。流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金の増加4,223百万円および受取手形及び売掛金の減少714百万円、商品及び製品の減少257百万円と、未収入金の減少などによる流動資産「その他」の減少617百万円であります。固定資産の減少の主な要因は、有形固定資産の減少1,420百万円および長期前払費用の増加などによる投資その他の資産「その他」の増加711百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて280百万円増加し、26,329百万円となりました。この要因は、流動負債の増加23百万円と、固定負債の増加257百万円であります。流動負債の増加の主な要因は、未払法人税等の増加572百万円、契約負債の増加282百万円、賞与引当金の増加84百万円と、未払消費税等の増加などによる流動負債「その他」の増加146百万円および買掛金の減少1,065百万円であります。固定負債の増加の主な要因は、役員株式給付引当金の増加79百万円と、リース債務等の増加などによる固定負債「その他」の増加165百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1,474百万円増加し、75,547百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加2,654百万円と、配当金の支払いによる利益剰余金の減少2,055百万円および自己株式処分等による自己株式の減少507百万円と資本剰余金の増加178百万円であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末から0.2ポイント上昇し、73.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は34,331百万円となり、前連結会計年度末より4,223百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間の各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は6,150百万円(前年同期は6,396百万円の収入)となりました。この内訳の主なものは、税金等調整前四半期純利益4,107百万円、減価償却費2,143百万円およびその他流動資産の増減額823百万円などによる増加と、法人税等の支払額1,136百万円および仕入債務の増減額1,117百万円などによる減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は922百万円(前年同期は3,568百万円の支出)となりました。この内訳の主なものは、有形固定資産の取得による支出610百万円および無形固定資産の取得による支出404百万円などによる減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2,118百万円(前年同期は2,079百万円の支出)となりました。この内訳の主なものは、配当金の支払額2,052百万円などによる減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2022年8月5日の決算発表時に公表した2023年3月期通期(2022年4月1日～2023年3月31日)の業績予想を修正しております。

国内事業においては、広告投資を強化したことにより通信販売および卸販売が好調に推移した一方で、店舗販売は新型コロナウイルス感染症の影響などにより、当第2四半期連結累計期間では未達となりました。

国内事業の未達分に加え、海外事業において現地販売代理店の在庫調整が想定以上に長引いていることや、bosciaブランドの苦戦などにより、2023年3月期通期の売上高および各利益の予想を修正することといたしました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,108	34,331
受取手形及び売掛金	11,916	11,202
商品及び製品	5,518	5,261
原材料及び貯蔵品	5,610	5,429
その他	2,553	1,936
貸倒引当金	△101	△90
流動資産合計	55,605	58,069
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	34,715	34,447
減価償却累計額及び減損損失累計額	△19,103	△19,434
建物及び構築物(純額)	15,611	15,012
機械装置及び運搬具	16,783	16,873
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,326	△11,076
機械装置及び運搬具(純額)	6,456	5,796
工具、器具及び備品	9,981	9,928
減価償却累計額及び減損損失累計額	△8,435	△8,493
工具、器具及び備品(純額)	1,546	1,434
土地	14,214	13,914
リース資産	205	355
減価償却累計額及び減損損失累計額	△127	△177
リース資産(純額)	78	178
その他	-	128
減価償却累計額及び減損損失累計額	-	△17
その他(純額)	-	110
建設仮勘定	34	74
有形固定資産合計	37,941	36,521
無形固定資産		
その他	2,587	2,587
無形固定資産合計	2,587	2,587
投資その他の資産		
投資有価証券	125	125
その他	3,860	4,572
投資その他の資産合計	3,986	4,697
固定資産合計	44,516	43,807
資産合計	100,121	101,876

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,431	2,365
未払法人税等	1,271	1,843
契約負債	2,461	2,743
賞与引当金	1,234	1,318
資産除去債務	2	6
その他	5,971	6,118
流動負債合計	14,373	14,396
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	10,100	10,075
役員株式給付引当金	108	188
退職給付に係る負債	880	929
資産除去債務	496	485
その他	89	255
固定負債合計	11,675	11,932
負債合計	26,048	26,329
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,795	10,795
資本剰余金	12,003	12,181
利益剰余金	70,766	71,366
自己株式	△20,003	△19,496
株主資本合計	73,561	74,846
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	100	256
退職給付に係る調整累計額	△228	△188
その他の包括利益累計額合計	△128	67
新株予約権	640	633
純資産合計	74,073	75,547
負債純資産合計	100,121	101,876

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	49,876	50,639
売上原価	16,530	16,393
売上総利益	33,346	34,245
販売費及び一般管理費	28,174	30,895
営業利益	5,171	3,350
営業外収益		
受取利息	25	25
受取配当金	0	0
為替差益	162	735
受取賃貸料	68	60
雑収入	159	96
営業外収益合計	417	917
営業外費用		
支払利息	0	0
固定資産賃貸費用	5	4
貸倒引当金繰入額	-	50
雑損失	23	36
営業外費用合計	29	91
経常利益	5,558	4,176
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	24	3
減損損失	3	4
店舗閉鎖損失	27	61
支払補償金	20	-
その他	3	-
特別損失合計	78	69
税金等調整前四半期純利益	5,480	4,107
法人税、住民税及び事業税	1,286	1,708
法人税等調整額	124	△255
法人税等合計	1,410	1,453
四半期純利益	4,070	2,654
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,070	2,654

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	4,070	2,654
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	78	155
退職給付に係る調整額	36	40
その他の包括利益合計	115	196
四半期包括利益	4,185	2,850
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,185	2,850
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,480	4,107
減価償却費	2,117	2,143
減損損失	3	4
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△104	88
賞与引当金の増減額 (△は減少)	16	84
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	-	81
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△2,014	-
契約負債の増減額 (△は減少)	2,400	282
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	83	106
受取利息及び受取配当金	△26	△25
支払利息及び社債利息	0	0
為替差損益 (△は益)	△260	△1,066
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
固定資産除却損	24	3
店舗閉鎖損失	27	61
支払補償金	20	-
売上債権の増減額 (△は増加)	2,656	778
棚卸資産の増減額 (△は増加)	436	490
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△878	823
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	12	△36
仕入債務の増減額 (△は減少)	△470	△1,117
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△1,277	13
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△39	19
その他	△71	443
小計	8,136	7,286
利息及び配当金の受取額	1	0
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△1,720	△1,136
補償金の支払額	△20	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,396	6,150

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,183	△610
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△568	△404
投資有価証券の売却及び償還による収入	22	-
関係会社株式の取得による支出	△44	-
その他の支出	△35	△84
その他の収入	240	176
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,568	△922
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△2,048	△2,052
その他	△30	△66
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,079	△2,118
現金及び現金同等物に係る換算差額	281	1,112
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,029	4,223
現金及び現金同等物の期首残高	25,487	30,108
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,517	34,331

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(米国財務会計基準審議会会計基準編纂書(ASC)第842号「リース」の適用)

米国会計基準を採用している在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間の期首より、ASC第842号「リース」を適用しております。これにより、当該在外連結子会社における借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産および負債として計上することといたしました。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置で認められている、当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、使用権資産は有形固定資産の「その他」に、リース債務は流動負債の「その他」および固定負債の「その他」に含めて表示しております。なお、当該会計基準の適用による四半期連結損益計算書に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注)1			
売上高						
外部顧客への売上高	28,244	18,460	3,171	49,876	—	49,876
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	28,244	18,460	3,171	49,876	—	49,876
セグメント利益又は損失(△)	3,512	2,528	△21	6,019	△848	5,171

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△848百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注)1			
売上高						
外部顧客への売上高	28,694	18,866	3,078	50,639	—	50,639
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	28,694	18,866	3,078	50,639	—	50,639
セグメント利益	2,722	1,404	65	4,192	△841	3,350

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 セグメント利益の調整額△841百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。